

(敬老の日のお祝いに以下の文を添えました。)

コロナ禍中開催の東京オリンピック、パラリンピックが閉会致しました。例年なら澄み切った青空に秋の気配とコオロギの音が涼を呼ぶ季節のはずですが……。

ところがコロナ禍はすでに二年に亘り、未だに終息の気配は見えません。この間、町会活動も儘ならず会員各位には大変ご不便をおかけしております。本年も「敬老の日」がやって参りました。例年なら春の「さくらまつり」、毎月の「童謡・唱歌を歌う会」、「日帰りバス旅行」、老若男女で賑わう「芋煮会」、等と続くのですが、コロナ禍では如何ともなりません。

誠に些少ではございますが「敬老の日」に添えて若干のお祝いを差し上げ度いと存じますのでご査収下さいませ。コロナ禍が一日も早く終息し、会員の皆さまが一堂に会し楽しい芋煮会等に興じる日を「一日千秋の想」でお待ち致しております。

今後共お身体にはご留意なされ、一日も早い終息の日を祈っております。

敬白

令和三年九月吉日

練馬中央自治会会長

木内幹雄

会員各位

世の中は何か常なる 飛鳥川 昨日の淵ぞ
 今日には瀬になる 古今集

世の無常を表した句。

飛鳥川の明日の姿も定まらぬ。深い淵だったところも今日は浅瀬となっている。